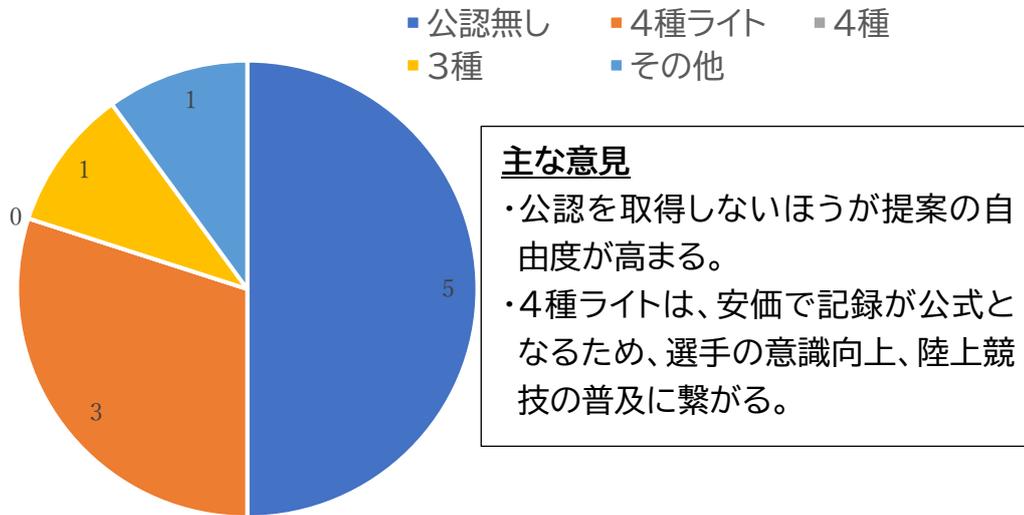
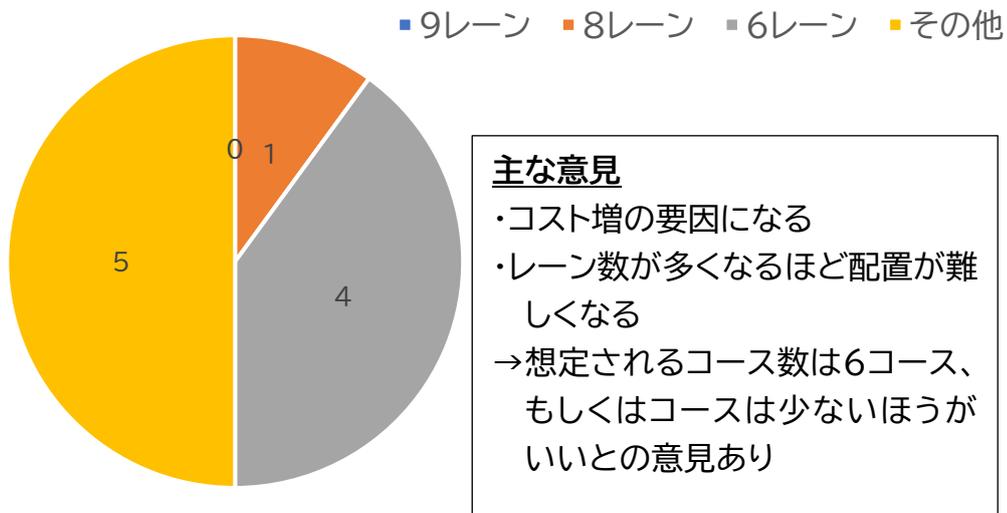


対話結果について（様式3-3）

1. 陸上トラックの仕様（公認の必要性）について



2. 想定されるコース数について



3. 陸上トラックを利用して実施することが考えられる自主事業の内容と頻度

(1) 定期的（月1~2回）

- ・こども向け ⇒ かけっこ教室
- ・おとな向け ⇒ ランニングクリニック
- ・高齢者向け ⇒ 歩き方教室、軽運動プログラム など
- ・家族向け ⇒ トラックを活用したレクリエーション企画（土日祝日）

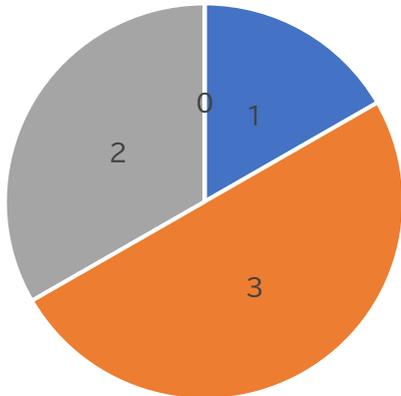
(2) 不定期（年1~2回）

- ・プロのコーチやアスリートによる、短距離走・スタートダッシュの指導教室

4.トラックとインフィールドの同時利用について

(本市の利用案)

- ・大会時 → 併用禁止 (例: サッカー大会時は、陸上トラック使用は不可)
- ・インフィールドの通常利用 (練習等) → トラックの外側 (3コース程度) のみ利用可

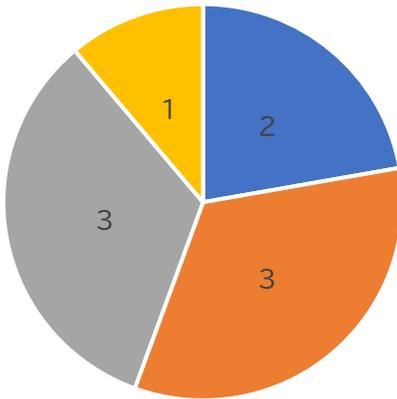


- 対応可能
- 対応不可
- 条件付きで対応可能
- その他の対策

本市の利用案に対する主な意見

- ・練習時であれば可能だが、利用者の動線に注意が必要
- ・安全面の考慮から同時利用の検討は難しい (実際に同時利用中の事故も発生している)
- ・直線路の利用は危険

5. 令和9年度中の供用開始が難しい施設

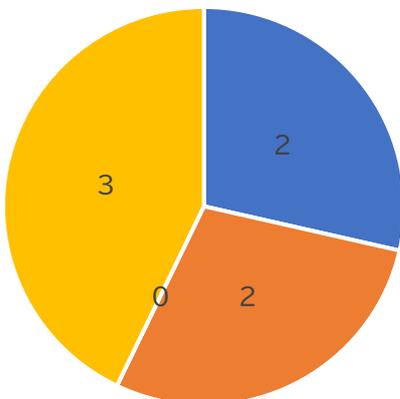


- 弓道場
- 地下式調整池
- 遊具施設ゾーン
- 特になし

主な意見

- ・1期工事は多目的広場は可能性がある
- ・市が求める全施設の部分供用開始はやや困難
- ・遊具ゾーンの部分供用はやや不安全

6. 現段階での必要計画土量について



- 40,000m³
- 60,000m³
- 80,000m³
- その他

主な意見

- ・今後 40,000 m³ で検討することは可能
- ・現時点では検証不可

7. 6で回答した土量はいつまでに必要か

- ・R8. 9~10月まで
- ・工事着工前